

## 令和6年度ウエザリング技術研究成果発表会開催のご案内

主催	一般財団法人日本ウエザリングテストセンター
協賛	一般社団法人日本塗料工業会、日本プラスチック工業連盟、
(予定)	一般社団法人日本防錆技術協会、公益財団法人スガウエザリング技術振興財団
開催日	令和6年11月27日(水)、11月28日(木) 2日間
会場	第1日(11月27日) AP浜松町 Fルーム 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館 B1F 第2日(11月28日) 銚子暴露試験場
参加料	参加料は、請求書をお受け取り次第お支払いください。

	賛助会員	非会員
第1日(11月27日)のみ	無料	3,000円
第1, 第2日(11月27日, 11月28日)2日間	1,000円	4,000円

注) 消費税, 11月28日の参加料は昼食代込み。請求書不要な方は、申込時にお知らせください。

## 振込先

三菱UFJ銀行	田町支店	普通預金 4000970
三井住友銀行	丸ノ内支店	当座預金 1015235
みずほ銀行	浜松町支店	普通預金 1185106

口座名: 一般財団法人日本ウエザリングテストセンター  
(サイ) ニホンウエザリングテストセンター

※ お振込手数料は貴社にてご負担ください。

参加申込 当財団 web サイト上の発表会ページ(<http://www.jwtc.or.jp/seminar/>)でお申し込みください。

※申し込みにはGoogle フォームを利用しております。

参加申込の送信後, Google フォーム (forms-receipts-noreply@google.com) より入力内容の確認メールが入力頂いたメールアドレスに送信されます。確認メールが届かない場合, 入力頂いたメールアドレスに間違いがある可能性がありますので, 事務局までご相談ください。

参加申込用 QR コード



Google フォームの利用ができない場合は, 発表会ページにある申込様式 (Word) にご記入のうえ, 事務局までメールでご連絡ください。

- 留意事項
1. 参加申込締切日は, 11月20日迄とし, 定員は会場80名とします。なお今回の成果発表会につきましては, Web参加は予定しておりません。
  2. 第2日(11月28日)の参加定員は15名とします。交通の詳細は, 別途ご案内いたします。
  3. 申込受付を事務局にて確認後, 参加申込者宛にメールにてご連絡いたします。
  4. テキストは, 前日までにメールにてお送りいたします。
  5. 正規受付け後のキャンセルは致しかねますので, あらかじめご了承ください。

## 発表会に関するお問い合わせ

一般財団法人日本ウエザリングテストセンター 〒105-0011 東京都港区芝公園1-1-11  
TEL : 03-3434-5528 FAX : 03-3434-5529  
E-mail : seminar@jwtc.or.jp



## 発表の概要

塗膜の劣化と塗膜下腐食	東京工業大学 名誉教授 西方 篤
<p>塗装鋼板の環境劣化は、紫外線や降雨などの気象因子による塗膜の保護性の消失とその結果起こる塗膜下での鋼材の腐食からなる。塗装鋼板の劣化試験は、一般に、屋外における長期大気暴露試験や室内における促進耐候性・腐食試験により行われる。また、試験後の劣化評価については、塗膜自体の劣化は色差計など光学的手法により行われ、塗膜下腐食や塗膜の密着性は剥離試験など破壊的な方法により行われることが多い。一方、非破壊的な劣化評価法として電気化学的手法も古くから使われている。本講演では、塗膜下腐食に着目して、電気化学インピーダンス法を用いた劣化評価方法について述べる。</p>	
ISO/TR 8547の発行及び日本への影響	元国立研究開発法人 物質・材料研究機構 篠原 正
<p>4種類の鉄鋼材料の暴露試験を、日本、タイ、ベトナムで実施した(E-Asiaプロジェクト)。各国の試験結果に対して統一的な解析を行い、温帯・寒帯から熱帯に亘るアジアモンスーン地区における、各金属の腐食挙動およびそれに影響を与える気象・環境データを取得できた。本講演では、炭素鋼および亜鉛めっき鋼板の暴露試験結果をまとめたISO/TR 8547を紹介するとともに、その日本への影響について解説する。</p>	
高分子材料の劣化要因について	JWTC 銚子暴露試験場 次長 伊藤 幹彌
<p>ゴム、プラスチックを主体とした高分子材料は一般家庭、各種産業分野において広く使用されている。一方で、これら材料は使用を通じてその特性が低下(劣化)する。劣化の要因は使用環境に応じて様々であるとともに、高分子の特性により、劣化の形態も金属材料や無機材料とは異なっている。本公演では、それらの要因について概説する。</p>	
模擬構造物を使用した大気暴露試験 —銚子10年目の暴露試験片の表面変化—	JWTC 銚子暴露試験場 促進試験担当課長 額賀 圭介
<p>経済産業省委託調査研究において模擬構造物(以下、構造物と称す)を作製し、2003年10月より構造物各部位で種々の材料の暴露試験を開始した。その後調査研究は終了しているが、当センターが継続して自主研究を進めている。構造物に取り付けられた塗装は、軒部では、壁面では紫外線、腐食による影響による影響の可能性を示した。本公演では、銚子10年目の塗装試験片の色・光沢などの表面変化を報告する。</p>	
ポリウレタン樹脂塗料の大気暴露試験及び促進耐候性試験の結果	JWTC 銚子暴露試験場 促進試験担当 松田 翔平
<p>塗料は、大気中の様々な要因(日射、気温、降水等)により多様な劣化が発生することが知られている。そのため、塗料の劣化挙動を理解することは、塗料の適正な利用を促進する上で重要である。本公演では、上塗り塗料にポリウレタン樹脂塗料を塗装した試験板を用いて、大気暴露試験及び促進耐候性試験での色差や光沢保持率の変化を評価し、両試験の相関を調査した結果を報告する。</p>	
屋外暴露試験と各種促進耐候性試験の結果比較	スガ試験機株式会社 片野 邦夫
<p>同一のプラスチック試験片に対して屋外暴露試験、キセノンランプによる高放射照度試験、メタルハライドランプによる試験及びサンシャインカーボンアークによる試験を行った結果を用いて、紫外放射の分光放射照度分布が異なる耐候性試験方法間での結果を比較した事例を紹介する。また、使用したプラスチック試験片に対し分光老化試験を行い、得られた波長毎の劣化特性と合わせた考察についても報告する。</p>	
本州四国連絡橋の腐食対策について(200年以上利用される橋を目指して)	本州四国連絡高速道路株式会社 大江 慎一
<p>本州四国連絡橋は、腐食環境の厳しい海上部に建設された世界でも類例をみない長大橋梁群であり、その建設にあたっては、様々な腐食対策を講じてきた。この腐食対策の概要を紹介する。また、現在では鋼橋塗装の主流となっている重防食塗装の変遷と、劣化状況、及び塗装の塗り替えなど保全の取り組みについて、説明する。最後に、本州四国連絡橋の腐食防食技術を中心に保全の技術開発についても紹介する。</p>	

発表会に関するお問い合わせ

一般財団法人日本ウエザリングテストセンター 〒105-0011 東京都港区芝公園 1-1-11

TEL : 03-3434-5528 FAX : 03-3434-5529

E-mail : seminar@jwtc.or.jp